

夏休み自然体験教室「ぬけがらで分類できる！？セミのおきみやげ調査と標本作り」

実施日時：平成28年8月21日（日）9：15～14：15

場 所：広島県広島市南区 元宇品

講 師：菊間 馨 氏（自然公園指導員）

参加者：28名（大人：13名、子ども：15名）

天 候：晴れ

内 容：シイ・カシなどの広葉照葉樹の原生林が残る瀬戸内海国立公園元宇品には、様々な野鳥や昆虫が生息している。夏を代表する昆虫“セミ”をテーマに、セミのぬけがら調査、分類、標本作りを通して、セミの生態やふしぎを学んだ。

日 程： 9:00～ 集合・受付
9:15～ オリエンテーション、アイスブレイク
9:45～ セミのぬけがら探し
11:00～ セミのぬけがらの分類
12:20～ 昼休憩
12:45～ 標本作り（※保護者は自然散策プログラム）
14:00～ ふりかえりと分かち合い、まとめ
14:10～ アンケート記入、解散

【実施風景】



開会挨拶

セミのおきみやげ調査を初企画！ぬけがらはマニアックかな？と思いましたが、多数ご応募いただき、28名の方にご参加いただきました。

オリエンテーションでは、関自然保護官の挨拶のあと、講師の菊間先生をご紹介させていただきました。



アイスブレイク

本日のスケジュールとルールを説明後、セミの学習も踏まえてアイスブレイク。セミの声真似だけで仲間を見つけるゲームを行いました。セミの鳴き声も分かったところでいざ元宇品の森へ！



ぬけがら探し開始！

元宇品の原生林は野鳥や昆虫の宝庫です。歩いて10分もしないうちにぬけがらが続々見つかりました。



「ここにもあった！」

高いところか低いところか？

枝か幹か葉か？

どんな角度で付いているか？などを調査シートに書き留めながら集めました。



アブラゼミのぬけがら

よほど羽化に良い場所なのでしょうか？2, 3匹同じ場所で羽化している場所もありました。



アブラゼミの成虫

ぬけがらだけでなく、もちろん成虫もたくさんいました。中には十数匹止まっている幹も…！

鳴かずに止まっているのでメスがオス待ちしてるようです。

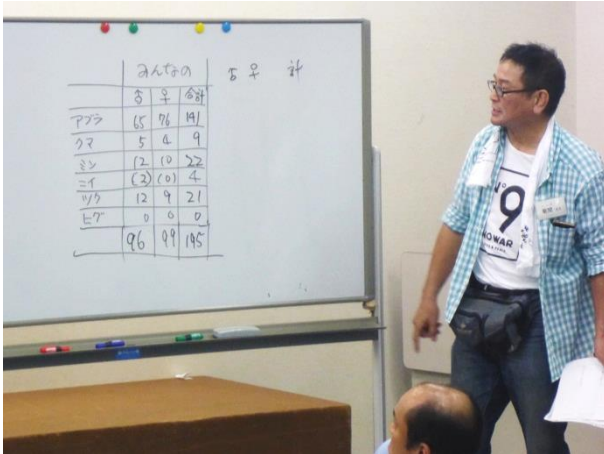


分類（同定）作業

成虫と違ってぬけがらでは体長や触角の節の数や長さなどを見て分類します。検索図を使って、アブラゼミやクマゼミ、ニイニイゼミ、さらにオスメスに分類し調査シートにまとめました。



これはアブラゼミかな？ミンミンゼミかな？
初めてのぬけがらの分類に難しさも面白さも感じた時間だったのではないのでしょうか。



本日の調査結果は…

2週間前の下見の時は実はアブラゼミしか見つけれなかったのですが…
なんと！5種類、195匹も見つかりました！昆虫探しは子どもには敵いませんね。オスメスが同じ数だけいたこともわかりました。



標本作り

午後は今日採集したぬけがらを記録に残すために標本作りを行いました。ここからは保護者の方には自然散策プログラムを用意し、子どもたちだけで標本作製タイム！



標本箱完成！

虫ピンで留めて、ラベルも付けて…難しい作業かな？と思いましたが、ぬけがらを壊すこともなく器用に留めていきました。

それぞれ個性的な標本箱ができました！



記念撮影

最後は完成した標本箱を持ってみんなで記念撮影！よくできました！

是非家の周辺でもぬけがら調査をして、さらに生きものへの関心や知識を深めてもらえたら嬉しいですね。